

保育施設

Nursery school



駅(左奥)に隣接した敷地に建つ保育園。北欧の文化を発信する地域において、市民や駅の利用者に親しまれるランドマーク的な存在になるようにと、異勾配の屋根や連窓、明るいカラーを組み合わせた北欧風のファサードがデザインされた。

線路側(北側)につくられたアトリエコーナー。子供たちが行き交う本物の鉄道車両を見ながらお絵描きができる。



駅の隣接地にツーバイフォー工法で建設 北欧風デザインの保育園

森林文化都市を宣言する埼玉県飯能市に、近年北欧の生活文化を発信するテーマパークが開園、その玄関口となる西武鉄道飯能駅の駅舎が地元の西川材を使ったフィンランド風のデザインに、2019年3月リニューアルされました。そんな北欧を意識した街づくりが進むなか、本施設は地域の待機児童解消対策として駅に隣接した敷地内に計画され、2020年4月に開設しました。

トラスを採用したツーバイフォー工法により、子供たちがのびのび育つ開放的な空間を創出。2階はフロアの大半を可変性のある無柱空間とし、行事等に合わせてフレキシブルに使えるようになっています。一部高天井にした南側にはハイサッシュの連窓が設置され、採光・通風を確保。内装や建具には地産地消の観点から西川材がふんだんに使われ、木の温もりあふれる保育環境が実現しました。

童話「ムーミン」の世界から抜け出したような外観を演出する異勾配の屋根について、「複雑な形状により、トラスの取り合いには工夫を要しました。工場で組立・出荷と現場での施工を調整するため、何度も打ち合わせを重ねたことを思い出しますが、地域に親しまれる建物となりよかったです」と、施工担当者は振り返ります。



1階の1歳児保育室。天井(2階床)のトラスにより約13mを内壁なしで実現した。内装には色の淡い西川材を使用。



1階厨房(左)とトイレ(右)。厨房には2階への食事の提供のためダムウェーター(右奥の木扉部分)を設置。構造との取り合いに工夫した。



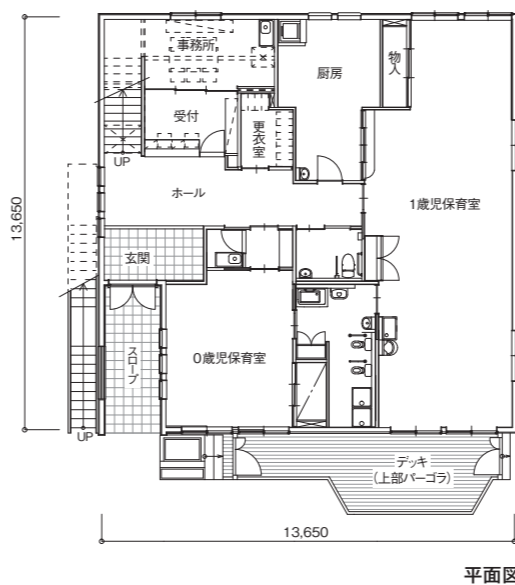
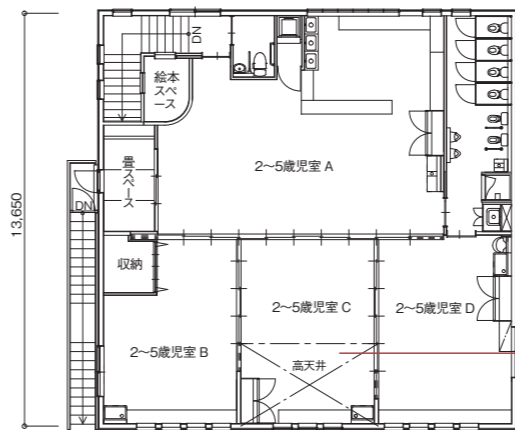
2階中央の南側には天井高約3.6mの開放的な空間が創出された。連窓は天井までの高い位置に設けることで大空間の奥まで、たっぷりの光がもたらされ、健やかな保育環境が実現。



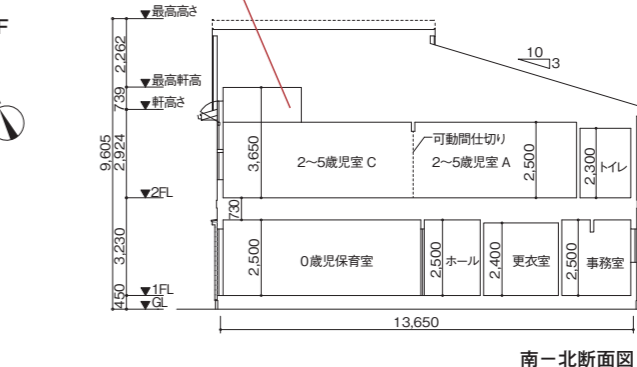
2階の2歳児～5歳児保育室。約155㎡の無柱の大空間が確保され、木製の可動間仕切りの開閉によりフレキシブルに使える。内装や建具の造作には節入りをはじめ色が濃く木目の目立つ西川材を使用。



2階はトラスで大スパンを飛ばして無柱空間をつくった。とくに南側は異勾配の屋根や天井高の切り替え、ハイサッシュの設置等により取り合いが非常に複雑だった。



小屋裏はさまざまな形状のトラスが組み合わせられている。



物件概要 Nursery school

Nicot 飯能

所在地: 埼玉県飯能市

用途: 保育施設

構造: 枠組壁工法[準耐火建築物]

規模: 2階建て

敷地面積: 499.93㎡ (151.23坪)

建築面積: 199.17㎡ (60.25坪)

延床面積: 373.17㎡ (112.88坪)

(駐輪場面積10.50㎡を含む)

1階176.35㎡ (53.35坪) 2階186.32㎡ (56.36坪)

設計・施工: 西武建設株

建方工事: ウイング株、株ウッドワーク

工期: 2019年8月～2020年3月

法規制:

第1種住居地域(建蔽率60%、容積率200%)

法22条区域